

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 年全コース	幼児と健康	佐野 裕子	
サブタイトル	幼児の健やかな心と体を育む	単 位 数	1
授業形態	講義		
開講時期	前期	出席要件	4/5 以上
到 達 目 標			
(1) 目的 領域「健康」の指導に関する幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的な課題に関する知識を身につける。			
(2) 授業構成と到達目標			
1. 幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解し、説明できる。			
2. 幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成について理解し、説明できる。			
3. 安全な生活とけがや病気の予防について理解し、説明できる。			
4. 幼児期の運動発達の特徴と意義を理解し、説明できる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
1. 幼児教育に対する情熱や責任感を身につけている。			
2. 専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている。			
3. 多様な協働学習を通して、豊かな人間性を身につけている。			
カリキュラムマップの位置づけ 1 年次前期（第 1 部）、 1 年次前期（第 2 部）			
授 業 の 方 法			
1. アクティブラーニング（グループディスカッション、グループワーク等）で他者の意見を聞き、自分の意見をまとめる。また、プレゼンテーションを行う。			
2. 幼児期の心と体の健康について理解を深めるために、課題（レポート）に取り組む。			
3. 視聴覚教材などを通して具体的に理解する。			
4. Google Classroom にて、授業内容の確認及び学びの確認として、授業終了時に「授業の振り返り」の記入及び提出を求める。「授業の振り返り」は評価し、コメントを返却する。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト： 『保育内容 健康』酒井幸子・松山洋平編著、萌文書林、2020 年。			
参考図書： 『幼稚園教育要領解説』文部科学省、フレーベル館、平成 30 年。			
『保育所保育指針解説』 厚生労働省 フレーベル館 2018 年			
『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』,内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館 2018 年。			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
1. 幼児の心身の健康について、発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などについて理解し説明することができる。		定期試験	70%
2. 幼児期の健康に関する課題を理解し、説明することができる。		レポート	(授業シート含) 30%
3. 課題（レポート）、授業シートの内容と提出期限の遵守。			
4. 授業態度			
履修上の注意事項や学習上の助言など			
1. 課題（レポート）は、提出期限に必ず提出する。			
2. 授業範囲のテキストを読む「予習」と授業シートを使用して「復習」を行う。			
3. グループワークには積極的に取り組み、他者の意見から学ぶ姿勢を身につける。			
4. 学びを生かして、自身で考え模索する「主体的に学ぶ姿勢」を求める。			
5. 幼児期の健康に関するニュースや情報、雑誌・記事等に関心をもつ。			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	【ガイダンス・幼児の健康の意義と課題】 ・授業の目的、内容、進め方について理解する ・幼児の健康の意義を理解する ・幼児の心と体の健康の課題を考える	授業科目の理解 幼児の健康実態の把握 健康の意義の理解 幼児の健康課題の把握
2 回	【幼児期の発育・発達】 幼児期の発育や発達の違い、特徴などについて理解する	幼児の発育・発達の理解
3 回	【幼児期の基本的生活習慣と生活リズム】 ・基本的な生活習慣の形成、生活リズムの確立について理解する ・運動、食、睡眠習慣の現状と課題、自立（自律）について理解する ・食物アレルギーについて理解する	基本的な生活習慣形成・生活リズム確立の理解 食物アレルギー児への理解
4 回	【幼児期の安全教育と安全管理】 ・幼児の安全教育と安全管理の必要性について理解する ・学校安全・安全教育の3領域を理解する ・リスクとハザードについて理解する	学校安全・安全教育3領域の理解 リスクとハザードの理解
5 回	【幼児期のけがの特徴や病気の予防】 ・幼児のけがの実態や病気について理解する ・けがや病気の対応について学ぶ ・ヒヤリハットについて理解する	けがや病気の予防と対応 ヒヤリハットの理解
6 回	【幼児期の運動発達の特徴と課題】 ・乳幼児の運動発達と特徴とその課題について理解する ・幼児期運動指針を理解し活用する	幼児の運動発達の理解 課題解決力 幼児期運動指針の活用
7 回	【幼児の心と体を育む保育プログラム】【保育者の役割】 ・幼児の心と体を育む運動プログラムを作成する ・幼児が健康生活を送るための保育者の役割について考察する	心と体を育む保育プログラム作成力 保育者の役割理解
試験	試験は、評価の要点に基づいて実施する。	